

認定看護師会からのお便り



昨年度は認定看護師の自己紹介をお便りに載せました。今年度は認定看護師の活用の方法と連携の実際を紹介します。

今回は、皮膚排泄ケア認定看護師の中村令子さんです。

1. このようなときに相談をして下さい（PHS：5316）

- 1) 褥瘡管理（自重・MDRPUの予防方法、治癒環境の整備など）
- 2) ストーマ管理（ストーマについての諸々、術後の管理、合併症への退所、装具選択、退院後の管理や新たな問題への対応など）
- 3) 瘻孔や創傷管理（難渋する瘻孔や創傷のケア方法など）
- 4) IAD（失禁関連皮膚炎）や他皮膚に関連する困りごとなど

2. 主な連携

- 褥瘡対策チームや委員、医師、病棟・外来看護師と連携して、外来及び入院中の褥瘡リスク患者の予防管理、褥瘡の早期改善を目指し活動しています。
- オストメイトが安心して日常生活が送れるように病棟、外来看護師と連携してケアや指導をしています。



- 煩雑な業務の中、患者さんに寄り添い毎日ケアを遂行しているのは看護師の皆さんです！この場を借りて「有り難うございます！これからも宜しくお願い！」

院内研修のお知らせなど



続いて、通院治療センター所属のがん化学療法看護認定看護師の湯本知枝さんです。

1. このようなときに連絡・相談をしてください（PHS：5332）

- 抗がん剤の投与管理
- 抗がん剤の治療に伴う緊急時の対処（過敏症出現時、血管外漏出など）
- 抗がん剤の副作用対策やセルフケア支援（骨髄抑制、悪心／嘔吐、便秘／下痢、脱毛、皮膚障害、口内炎、末梢神経障害など）
- アピアランス（外見）ケア
- 中心静脈ポート、PICCの管理
- その他、抗がん剤治療に不安を抱える患者さんの対応、治療選択、治療変更または中止等の意志決定時の対応など

2. 湯本さんと連携して（外来系・がん相談支援センター）

ある外来では、ポート管理についてデモ機を用いて手技の根拠や注意点をお伝えし、実践に役立てられたとお聞きしました。

がん相談支援センターの相談員さんより、ウィッグの相談時、患者さんがより自分らしく生活できる方法を一緒に考えることができたとお聞きしました。

また、薬物療法中の副作用に対する不安への対応や生活上の工夫点などを患者さんとともに教えていただくことができたとお言葉をいただきました。



些細なことでも、皆さんのお役に立てると嬉しいです。
お困りのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。